



5年国語研究授業 ～大造じいさんの生き方を題名にしよう～

7日（水）は計画訪問（指導主事の先生をお迎えしての授業研究会）があり、5年生の国語の授業を提示しました。今回の訪問には、今年採用された5名の初任の先生方も「初任者研修」で来校され、授業参観、その後の研究協議会にも参加されました。

授業は、「大造じいさんとガン」を中心教材とし、作者がこの物語を通して何を伝えたいのか、根拠を明らかにして考えることを課題として、ジグソー法で行われました。授業は、およそ次のような流れで行われました。

- ① あらかじめこの課題について考えた子どもたちの意見は、「仲間を大切にすること」「よいところを認めること」「堂々と戦うこと」の三つ分けられることを確認する。
- ② 三人～四人のグループとなり、それぞれのグループに三つの意見に関する資料のうち一種類の資料が与えられ、その資料をもとに課題について話し合う。（エキスパート活動）
- ③ 別々の資料で話し合った者同士が集まって別のグループを作り、エキスパート活動で話し合ったことを紹介しながら、再度、課題について話し合う。（ジグソー活動）
- ④ これまでの学習をもとに、全員で課題について話し合う。（クロストーク）
- ⑤ これまでの話し合いをもとに、この物語の主題について自分の考えをノートにまとめる。

教師の教えたいことを「正解」「まとめ」として子どもに覚えさせるのではなく、子どもたちが考えを自ら引き出し、友達の考えとの違いに気付き、より自分で納得いく考えを作り出すということが、授業の流れの中で自然にできていたと思います。

授業を参観された指導主事、そして5名の初任の先生方も、課題について主体的に関わり、対話を通して考えを深めていく子どもたちの姿に大変感動したと話されていました。



エキスパート活動での話し合い



ジグソー活動での話し合い



クロストークでの話し合い



自分の考えをまとめる



たくさんの先生方に囲まれての授業



子どもたちの活動を温かく見守る担任